



# 安全な看板で お客様に選ばれる会社やお店に！

看板の安全管理には、日常点検による早期発見、危険サインへの早期対応、保守管理のスケジュール化の3ステップが不可欠です。

安全な看板は、会社やお店のイメージをアップし、信用・信頼を担います。

## 1 日常点検で、セルフチェック！ 早期発見が事故を防ぎます

屋外広告物は、雨や風、強い日差しなどの厳しい自然環境にさらされています。表面はきれいな看板に見えても、内部では気づかぬうちに腐食が進み、落下や倒壊等の事故を生じ、取り返しのつかない事態を招く恐れがあります。

日常的に、目視による「危険サイン」のセルフチェックを行きましょう。

### < 日常点検 チェック表 >

セルフチェック項目	危険サイン 有
取付（支持）部分に、サビ、腐食が出ていませんか	<input type="checkbox"/>
主要部材に、変形、サビ、腐食がありませんか。	<input type="checkbox"/>
ブラケットからサビの汚ダレが出ていませんか。	<input type="checkbox"/>
看板が傾いていませんか。	<input type="checkbox"/>
パネル板に、ひびや破損がありませんか。	<input type="checkbox"/>
パネル板が、がたついたり、外れかけたりしていませんか。	<input type="checkbox"/>
表示面の汚染、変色、剥離がありませんか。	<input type="checkbox"/>
照明は正常に点灯していますか。	<input type="checkbox"/>
照明器具が、傾いたり、外れかけたりしていませんか。	<input type="checkbox"/>
部材・部品が欠落していませんか。	<input type="checkbox"/>

※震度5以上の地震や大型台風の後などは、屋外広告業者に臨時点検を依頼しましょう。

## 2 危険サインは、屋外広告業者に依頼！ 早期対応がリスクを抑えます

「危険サイン」を見つけたら、屋外広告業者に詳細な点検や補修等を依頼しましょう。

早期に対応すれば、サビを落とし保護材を塗布する等の簡単な処置で済むものも、放っておくと取替えや大規模補修により多額の費用がかかり、事故が発生した場合は賠償責任を問われることもあります。後回しは、大きなリスクとなります。

## 3 許可更新申請時に、総合点検！ スケジュール化で安全管理のしくみづくり

看板を安全に長持ちさせるためには、保守管理をスケジュール化しておく必要があります。許可更新申請のタイミングで、しっかりと総合的な安全点検や補修などを行い、問題点を解決しておくことが、持続可能な安全管理のしくみづくりにつながります。

### 【問い合わせ】

浜松市都市整備部土地政策課（中・東・西・南・北区） TEL053-457-2344

// 北部都市整備事務所（浜北・天竜区） TEL053-585-1162